

2022年新しい年へ 治安維持法犠牲者の志を生かし 改憲勢力と対決して憲法を生かす新しい政治実現に奮闘しよう!

鹿居島と橋



2021年6月1日からの
国会請願国賠署名、同盟員拡大到達表 2021.12.29 現在

支 部	国賠署名		同盟拡大	
	目 標	到 達	目 標	到 達
岡 山	7,000	1,363	200	217
備 南	2,500	126	80	64
美 作	800	139	50	33
玉 野	700	15	20	21
県 計	10,000	1,643	350	336

「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」映画上映運動を成功させ、国賠同盟会員拡大・署名の飛躍を

二〇二二年新年の挨拶

2022年の新年早々、映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」の上映会が東京で開かれ、4月から全国公開が行われます。県全体の上映実行委員会結成は1月17日に行われます。1月16日に開かれる備南支部総会でも、倉敷地区実行委員会結成を相談する予定です。

安倍自公政権を引き継ぐ岸田政
権は、日米軍事同盟強化、米国「核の傘」の下で日本の敵基地攻撃能力保持を進め、軍事費GDP比1%超へ増大させています。緊張が高まるアジア情勢の下、7月参院選では、憲法を守り、人権と平和を求める野党共闘が重要となります。国賠同盟もその一翼を担って奮闘しましょう。

県本部事務局長 前川 守

が四月一五日から始まり、上映に向けて各地に上映実行委員会を急いで作りましょう。

一九二五年に制定された治安維持法。一九四五年に廃止されたものの、制定から九七年、廃止から七七年になります。

去年は自民党・公明党の政権を倒して野党連合政権をめざす総選挙をたたかいました。国会決議で犠牲者救済を実現するために、国会請願署名一万筆と今夏の参議院選挙勝利に向けて頑張ります。



岡山県版

No. 309

2022年1月15日

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

岡山県本部

〒710-0131

倉敷市天城台

4・7-12 福井方

振替 01300-4-99361

mail: family-fukui@khf.biglobe.ne.jp

二〇二二年新年の抱負 ―市民共闘の一員としてキシダ改憲阻止に全力―

県本部副会長・美作支部長 中西 孝

昨年一二月の支部役員会では「数年、国賠署名の目標が未達成が続いている。今年こそ目標の八〇筆を達成し、キシダ政権の改憲阻止に向け、市民共闘の翼をしっかりと担う」ことを意思統一しました。

署名をお願いしていた団体が集

新年明けましておめでとうございます。

県本部副会長・岡山支部長 河井伸士

昨年の衆議院選挙で野党4党は市民連合と共通政策を結び、政権交代をもとめ、奮闘しました。選挙中も選挙後も続く野党共闘への攻撃は自公政権がいかに市民と野党の共闘を恐れているかを示しています。参院選では野党共闘の力を見せつけたいと決意しています。

私の知り合いだった治安維持法犠牲者の久山専一郎さん。昭和五〇年当時のある春の日。久山さん宅に遊びに行くと「今日は桑山

さんが中国から買ってきた酒で花見をやる」と言うので一緒に行ききました。久山さんが何故、治安維持法で捕まったか。それはエスペラント語で海外の人達と交流があった為です。

同じように捕まった仲間が、殴られたりけられたり、ロウソクの灯であぶられたりひどい目にあったそうです。

そういうなかで「山本の鶴さん」「青井の憲さん」という名前がたびたび出てきました。知り合った

映画「伊藤千代の子の生涯」上映成功へ 新しい年のスタートです。

県本部副会長・玉野支部長 小野富男

昨年の総選挙で国賠同盟は野党統一候補、紹介議員の一八〇名に「請願三項目」の要望書、為書きを届け、勝利に向け、奮闘し、八四名の衆院議員を確保しました。

玉野支部は2区の津村啓介勝利に奮闘しました。

総選挙の結果が冷静に分析されれば「市民と野党」共闘の威力に確信がもてます。残念なのは改憲勢力が衆院で三分の二を占めたことです。

玉野支部は二月に総会を開き、①国賠署名の支部目標の達成②映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」上映実行委員会をつくる③改憲阻止へ会員拡大に頑張る

当初、家にいくと「まあ気付けに一杯」とコップ酒が出てきました。私は親父が自民党員だったので、久山さんを親父のように思っていました。

12月 事務局日誌

- 1日 県本部常任理事会
- 2日 井原支部「伊藤千代子」藤田講演DVD備南支部役員会／玉野支部役員会／美作支部役員会
- 5日 中国ブロック交流会議
- 8日 12・8開戦の日 街頭宣伝
- 10日 「不屈」発送作業岡山支部中央本部常任理事会
- 13日 備南支部役員会
- 15日 東睦「沖縄」映画上映会
- 17日 「櫛屋」を無罪に「宣伝
- 18日 女性部会
- 20日 岡山支部役員会
- 24日 本部へ 同盟費、年末募金、祝賀広告料送金

「中国はいつたいていどうなっているの」 ―笠原十九司氏の講演から―

谷口洋子



「中国はどうなっているの？」

は誰もが「？」と思う疑問だろう。私も新聞の断片的な記事ではよくわからない。どうも変だなとは思

うが、全体像はよくわからない。一月二日、埼玉県川越市で中国史が専門の笠原十九司氏の講演を聞きました。

タイトルは「現代の中国とわれわれの運動の課題」で主として習近平体制の中国と安倍政権下で崩された日本の議会制民主主義について話でした。

まず、習近平は父が革命の第一世代で彼は革命家二世になる。父は元副総理の習仲勲

文化大革命中、十六歳から三三歳まで農村に下放された。その後、中国共産党に入党し、清華大学化学工学部に「工農兵學員」として無試験で入学し、有機合成化学を学ぶ。

その後、中国の地方党幹部を歴

任後、二〇〇七年から中国共産党中央政治局常務委員から次々と中央の要職に就く。

二〇一二年、江沢民系の上海閥との熾烈な権力闘争を経て二〇一三年、党・国家・軍の三権を掌握し、習近平体制を確立する。憲法も変えて独裁的体制を強化させた。

二〇一三年の国家主席就任演説で「一帯一路構想」を提唱し、巨大な経済圏構想、中国西部―中央アジア―ヨーロッパの「陸のシルクロード経済ベルト」と中国沿岸部―東南アジア・スリランカ―アラビア半島の沿岸部―アフリカ東南部の「二世紀海のシルクロード」の二つの地域でインフラの整備、貿易促進・資金の往来を促進する構想を進めている。習近平体制で肥大化した国家社会主義で二〇一〇年代に中国は日本を抜いて世界第二の経済大国になった。二〇〇六年前後から企業の民

女性部
だより

歌で闘いを励ました歌手 横井久美子

三宅淑美



「四〇年余りの歌手生活を振り返ると、私を励ましてくれたのは、世の中の不正義に対し、勇気をもって声をあげ、過酷な運命にも関わらず、自ら歴史を切り開いてきた女性たちだったことを改めて思いだしました」

「『横井久美子歌手クラン ドフィナーレ』第1章」

営化より国営企業の独占化が強まった。国家が株の五一%を保有すれば実質、国営企業となる。

二〇一七年の世界のトップ企業五〇〇社（アメリカ一三四社、中国一〇八社、日本五二社）巨大軍需産業で兵器輸出としてアメリカ、ロシアに次ぐ世界第三位。輸出左記の大半はアジア、大洋州、パキスタンが三五%、バンングラデッシュ、ミャンマーなど。

（次号に続く）

彼女は闘う女性たちの姿に感動し、歌をつくり、世界を巡ってきたのです。しかし、今亡くなりました。私は三〇数年前に初めて彼女の歌を聞き、憧れの存在でコンサートにも何度も出かけました。久々にCDを聞き、その歌声に勇気づけられ、元気をもらいました。しかも声が美しいのです。

子供が小さいとき、お母さんと時間を合わせて新幹線のホームで子供を受け渡した話には印象的でした。私も似たような経験があるなど、思いだしたのです。誰にでもある日常の暮らしを歌にした曲もあり、親近感がわきます。彼女作『フーモア・スモンの歌』の一節「こんな苦しみは二度とこの世におこしてはならない こんな苦しみはもう 私たちだけでいい」はとても印象深く、説得力があります。この世に不条理が無くならない限り、彼女の歌はいつまでも人々を励まし、勇気づけてくれるでしょう。

治安維持法弾圧の体験を語る

宇野博文



いた。

私は一九三三年（昭和八）の四・一二事件の時、治安維持法で逮捕され、ひどい拷問を受けた。

当時、私は岡山市七日市の旭工業の労働者であった。低賃金と一二時間労働というひどい状況だった。

私は労働組合協議会（全協）の組合員になり、岡山支部の化学部門の責任者をしていた。

活動は集ることも話すことも不自由な治安維持法下。会議は旭川の河原で夜に開かねばならなかった。

全協は「賃金引上げ」「八時間労働」「侵略戦争反対」などをスローガンに掲げ運動して

四月一二日の朝、特高刑事の武田ら三、四人がやってきて有無を言わせず、引き立て、家宅搜索を行った。その夜、岡山東署で「全協のオルグ、浅香に自転車を買しただろう」という理由で五、六人の刑事に囲まれ、殴る、蹴る、竹刀での滅多打ちなどの拷問を三、四時間もやられた。それから数日後、再び特高刑事の武田、小坂、小林、青少年係の片山仁（後に自民党県議）らによって木刀、竹刀、捕縛縄などで徹底的に殴る、蹴るなどの拷問を受け、頭と背中から血が流れ、腿は内出血で赤黒く朽ちた。一〇日間ほど、痛みで寝れなかった。彼らは「お前が死んでもわしらには何の責任もない」とうそぶいていた。

黙秘を通したが二年六ヶ月の実刑を受けた。

（岡山民報三七八号）
一九七六年二月八日

『女性部総会の』案内』

時 二〇二二年二月一三日（日）

午後一時半～四時

所 福祉交流プラザ旭東

・女性部総会 一時半～二時

・講演 「憲法を政治に生かす運動と闘い」
講師 氏平長親（県革新懇代表世話人）

川柳

作者 玉野市 藤沢貴代子さん

岸田さん 赤木夫人の声 聴かないの
人の死で 出せしました 佐川さん
悪そうな顔をしている 悪い人

峰齡線を 隠してくれる マスクかな
きれいです ほめられたのは胃の写真